

令和 7 年 4 月

## 酒々井町地域防災力向上計画

酒々井町では、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災対策の基本に据え、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視し、また、経済的被害ができるだけ少なくなるよう、様々な対策を組み合わせることで災害に備えることとしている。

また、町民の安全・安心を守るためにとり得る手段を尽くし、地震や風水害などの様々な災害において、また、予防、応急対策、復旧のそれぞれの段階において、自助・共助・公助が一体となって、町内全域の防災力の向上を図っていくこととしている。

このことから、千葉県地域防災力充実・強化補助金を活用し、町民の自助・共助の取組を一層充実・加速させ、地域防災力の向上を図るため、この計画を策定する。

### 1 避難環境の強靱化

#### ① 現状及び課題

町内の指定避難所である町立小中学校 3 校の体育館には空調設備が整っておらず、夏季・冬季における避難が生じた際には、避難者の健康の維持が憂慮され、特に夏季の熱中症への対策は喫緊の課題である。

#### ② 基本方針

災害時における町民の避難所生活の環境維持のため、移動式スポットクーラーを整備する。

#### ③ 目標（令和 7 年度末まで）

町立小中学校 3 校へ移動式スポットクーラーを整備することで、良好な避難所環境の確保を図る。

#### ④ 具体的な取組

移動式スポットクーラー（6 台）の整備

### 2 自主防災組織の活動促進

#### ① 現状及び課題

災害による被害を最小限にとどめ、被害の拡大を阻止し、町民の生命・財産を守るためには、地域のつながりにより自発的に救助活動や消火活動を行う自主防災組織など、地域コミュニティにおける防災体制の更なる充実を図る必要がある。

令和 7 年 3 月末時点 自主防災組織数：16 組織

#### ② 基本方針

災害時には公助の対応にも限界があることから、町民の自助、共助意識を高

め、新規の組織結成の促進、既存の自主防災組織の活性化など、地域防災力の向上を図る。

③ 目標（令和7年度末まで）

自主防災組織の結成数を17組織とする。

④ 具体的な取組

- ・新規自主防災組織への資器材配備
- ・既存自主防災組織の資機材の更新・拡充